



平成 27 年 5 月 22 日

## 平成 27 年度第 1 回目の「海外物流戦略ワーキングチーム」を開催

(一社) 日本物流団体連合会 (物流連) は、平成 27 年 5 月 21 日 (木)、本年度第一回目の「海外物流戦略ワーキングチーム」の会議を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。

本ワーキングチームは、国際業務委員会 (委員長: 丸山英聡 日本郵船株取締役常務経営委員) の下に設けられ、海外に展開する物流事業者が直面する課題で、個々の企業によっては解決が難しい課題に、官民連携して取り組むことを目的としている。国土交通省関係者と物流事業のアジア進出の実務に携わるものにより構成されており、本会議は、3 年前の発足当初より定期的に会議を重ね、これまでに 17 回の会議を行っている。

今回の会議には、国土交通省の勝山国際物流課長を始めとする幹部や、会員企業から 20 人が参加した。会議では、まず海外に進出している企業のリスクやセキュリティ対策について、総合警備保障株式会社 (ALSOK) の海外安全対策アドバイザーより、海外で直面する自然災害や、内部犯行を含む盗難への備えなどの説明を受けた。

次に、本年度の海外物流実態調査の対象国について、事務局より案が提示され、本年度はラオスとカンボジアの 2 か国で調査を行うこととなった。本調査は 11 月にワーキングチームのメンバー 4 名で、1 週間をかけて現地を巡り、クロスボーダー輸送などの調査を行う予定である。

次に、国土交通政策研究所の鈴木研究調整官より、国際物流サービスに関する外資系企業へのヒヤリング調査に関する検討状況の説明があり、シンガポールで行うことが検討されているこの調査について、意見交換が行われた。

最後に、物流連が 7 月に主催する、欧州ロジスティクス視察団について事務局から説明を行い、視察における質問事項を整理した。

本ワーキングチームの活動は、今年度も、物流連の重要な業務と位置づけて、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業の専門家の参加を得ながら進めることとし、次回は、6 月 17 日の開催を予定している。

以上

事務局 永尾

## ワーキング風景



## 挨拶する大庭理事長



挨拶する勝山国際物流課長



挨拶する山川課長（右）と八島課長代理（左）（総合警備保障株式会社（ALSOK））

